

令和の八幡市 礎づくり前進

新型コロナ対策等関連事業

- 生活困窮者自立支援事業(住居確保給付金)(充実) 2,000万円
- 入所施設等感染防止対策支援(臨時) 400万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保(専決および2月補正含む)(臨時) 5,250万円
- 緊急事態措置協力金(2月補正)(臨時) 2,500万円
- 文化センター小ホールの衛生環境改善(2月補正含む)(臨時) 7,400万円
- 水道基本料金の2か月減免【水道事業会計】(臨時) 2,500万円
- 緊急事態措置協力金(2月補正)(臨時) 2,500万円



ともに支え合う「共生のまち やわた」

少子化による急激な人口減少と超高齢社会の到来に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地域コミュニティの希薄化がさらに進むとしております。地域コミュニティは市民自治の基礎であり、誰一人取り残さない社会を築いていくためには欠かせないものであります。私の公約である「市民との協働」という基本姿勢のもと、自治組織団体などと連携し、新たな地域コミュニティのあり方を模索しながら、市民誰もが互いを尊重し、支え合い、自分らしく活躍できる社会の実現を目指してまいります。

外国人居住者との交流会(令和2年2月実施)



- 外国人が暮らしやすい地域社会づくり(新規) 50万円
- コミュニティ事業推進(充実) 4,185万円
- 山土地域再生事業(継続) 510万円
- 市民協働活動センター運営(継続) 240万円
- 市民協働活動事業助成(継続) 90万円
- やわた男女共同参画のーぶフェスティバル開催(継続) 40万円
- 地域福祉推進計画の策定(新規) 500万円
- 絆ネット構築支援(継続) 365万円
- 「わたしたちの談話」プロジェクト(継続) 8万円
- 手話奉仕員養成研修事業(継続) 233万円
- 地域生活支援拠点事業(充実) 2,432万円
- ふれあい訪問収集(継続) 182万円
- 救急安心センター事業(充実) 123万円
- 学力向上推進事業(日本語支援員、母語通訳者派遣)(継続) 60万円
- 生涯学習推進費(各種講座の開催等)(継続) 750万円

誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出自粛による運動不足や、社会参加の制限による高齢者の認知機能の低下などの健康二次被害の拡大が懸念されます。厳しい状況ではありますが、今を自身の健康を再考する機会とし、市民誰もが「健康」で「幸せ」に暮らせるよう、「やわた未来いきいき健康プロジェクト」をはじめとするウイ

スコロナに対応した健康づくりの取組を推進してまいります。



- 高齢者保健事業・介護予防等一体的実施事業(充実) 880万円
- やわた未来いきいき健康プロジェクト(継続) 3,900万円
- 健康マルシェ開催(継続) 10万円
- やわたヘルスプロモーション推進(「健康アンバサダー」養成)(継続) 84万円
- 健康コミュニティ推進(生活総合機能改善)(継続) 100万円
- 再度予防接種助成(継続) 10万円
- 健康教育費(健康教室、セミナー開催)(継続) 15万円
- 後期高齢者歯科検診(オーラルフレイル予防)(新規) 58万円
- スポーツカーニバル(仮称)の開催(新規) 150万円

持続可能な「安心・安全のまち やわた」

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るうなかにおいても地震や台風、洪水などによる自然災害の脅威は存在します。市民の皆様生命と財産を守ることは市の使命です。令和2年度に策定しました「国土強靱化地域計画」に基づき、市民の皆様や関係機関などと、強靱で安心・安全な地域づくりを進めてまいります。

避難所につきましては、複合災害時でも安心して避難いただけるよう、感染リスク軽減に向け取り組んでまいります。

また、自治会毎に作成する「避難行動タイムライン」や家庭で作成する「マイ・タイムライン」などの作成支援に努め、新たに構築しました「八幡市防災情報発信アプリケーション」による

防災情報の配信や防災拠点となる新庁舎の整備に取り組んでまいります。さらには、災害時の情報収集能力の向上に向け、ドローン操縦要員の養成に取り組んでまいります。



新庁舎整備イメージ

- 庁舎整備事業(継続) 13億400万円
- 個別施設設計書の策定及び総合管理計画の改訂(継続) 1,650万円
- 電算化推進事業(BPR、チャットツール導入、リモートワーク実用研究)(新規) 635万円
- クールチョイスの推進、第3次環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の策定(充実) 1,260万円
- 地籍調査事業(継続) 700万円
- 街路灯LED化(継続) 2,500万円
- 単独道路等整備(橋りょう点検、市道改良)(継続) 2,400万円
- 志水防災広場トイレ設置工事(新規) 600万円
- 公営住宅管理(雄徳バリアフリー化、一土地耐震・外壁改修等)(継続) 3,608万円
- 機械器具及び消防庁舎整備(消防自動車更新、分署整備)(充実) 1億1,480万円
- 子ども防災デイキャンプ(継続) 6万円
- ブロック対策補助(継続) 50万円

しなやかに「活力のまち やわた」

少子高齢化によりもたらされる生産年齢人口の減少とそれに付随する市税の減収により、厳しい財政状況が続くことが見込まれます。そのような状況に対応するための活力あるまちづくりを進めるには、市内の商工業・農業の担い手を育成・支援するとともに、雇用を創出し税源の涵養を図る企業立地を推進し、駅周辺の機能向上など広域的な交流拠点の整備を進めることが必要です。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた商工業の状況把握をはじめ、行政・商工業団体・金融機関で情報を共有し商工業を振興するため、「八幡市商工業振興懇話会」を設立し、今後定期的に開催してまいります。また、コロナの感染状況を注視しながら、経済的に大きな影響を受けた飲食事業者を支援するため、再度「八幡おうえん飲食券事業」に取り組んでまいります。

加えて、融資を受けた事業者の負担軽減を目的とした中小企業者等事業継続支援金給付事業につきましては、融資制度の期間延長にあわせて支援を継続してまいります。



橋本駅前広場整備

- 地域公共交通計画の策定(新規) 1,000万円
- 地産地消推進(給食地元産米・味噌利用促進)(継続) 252万円
- 川口揚水機場改修(継続) 1,010万円
- 中小企業知恵のステップアップ事業(継続) 115万円
- 「まちゼミ」事業(継続) 90万円
- 八幡で買おう応援事業(継続) 200万円
- 創業融資等中小企業金融対策(継続) 422万円
- 石清水八幡宮駅自転車駐車場の運営(新規) 655万円
- 橋本駅前広場整備(電線共同溝詳細設計、二次ロータリー等)(継続) 2億730万円
- 府道八幡インター線整備(継続) 2,700万円
- 府道八幡田線整備(継続) 3,765万円
- 都市計画調査(土地利用促進のための調査)(新規) 450万円

子どもが輝く「未来のまち やわた」

子育て世代のライフスタイルの変化、核家族化の進行などにより、子育てについて身近に相談できる人が少なくなるなか、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で孤立化も進み、妊娠中の女性や乳幼児を抱えた家庭は大きな悩み・不安を抱えながら生活されていることと思います。

このような状況のなか、地域で安心して前向きに子育てができるよう、妊娠・出産期のサポートとして、新たに「宿泊型産後ケア」を実施いたします。

また、妊娠中は口腔を良好に保つことが早産予防につながることから、健やかな妊娠及び出産を迎えていただけるよう、新たに「妊婦歯科検診への費用助成」に取り組んでまいります。さらには、きこへの障がいや早期に発見し支援することが、子どものことばやこころの発達に効果的であることから「新生児聴覚検査に



に対する費用助成」も新たに実施するなど、切れ目のない相談・支援体制の充実に取り組んでまいります。

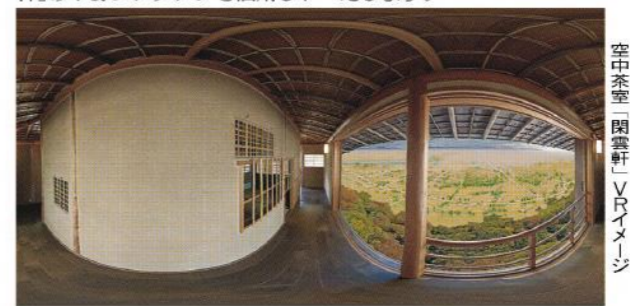
- 家庭児童相談室運営費(児童相談システムの改修)(充実) 108万円
- 発達障害児等早期療育支援(継続) 153万円
- 児童発達支援センター事業費助成(充実) 400万円
- 民間保育所・認定こども園障がい児保育事業費助成(継続) 3,633万円
- 副食費減免・補給給付事業(継続) 352万円
- 新生児臨時支援事業(新規) 1,250万円
- ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援(継続) 30万円
- さくら公園活用子育て支援イベント(新規) 50万円
- みどりの園遊づくり事業(新規) 400万円
- 妊産婦・母子保健指導事業(妊婦歯科検診、新生児聴覚検査、宿泊型産後ケア、子はたからプロジェクト等)(充実) 720万円
- 乳幼児発達クリニック(継続) 22万円
- 産前・産後ヘルパー派遣事業(継続) 37万円
- 産後ケア事業(助産師派遣)(継続) 40万円
- 10か月児健康相談(継続) 51万円
- 一般林業振興費(児童用機の府内産木材材)(新規) 1,100万円
- スケートボードパークの整備(新規) 3,600万円
- さくら公園・スケートボードパーク完成イベントの実施(新規) 100万円
- GIGAスクール構想整備事業(継続) 3,873万円
- スタディサポート(鳩嶺教室)事業(充実(一部新規)) 5,529万円
- 中央小学校照明LED化(新規) 1,500万円
- 就学援助費の拡充(要保護、準要保護、特別支援)(充実) 1億2,000万円
- 小学校屋内運動場空調設備等整備(設計)(くすのき小、さくら小)(新規) 800万円
- 南山小学校トイレ大規模改造(設計)(新規) 580万円
- 山山東中学校廊下等改修(新規) 830万円

自然と歴史と文化が「観幸のまち やわた」

市制40周年を機に、渺たる八幡市がAI時代の日本語を考へることに貢献するとともに、本市の歴史を発信するため創設しました徒然草エッセイ大賞は、令和2年度で4回目を迎え、新型コロナウイルス感染症に見舞われている社会を踏まえて、今起きている「変化」をテーマに作品を募集しましたところ、47都道府県のほか、アメリカ、フランスなど11か国・地域の方から事業創設以来最多となる3,564作品もの応募をいただくことができました。令和3年度は5周年となりますので、記念事業として、ゆかりのある仁和寺での授賞式開催を検討してまいります。

また、アフターコロナを見据え、国内外多くの方に八幡市を訪れていただけるよう、新たなコンテンツを加えて整備する「八幡ストーリー」や、令和2年度に制作した空中茶室「閑雲軒」のVRコンテンツを活用し、

八幡市の魅力を発信してまいります。さらには、観光協会の体制強化を支援し、既存観光資源の訴求力向上や新たな観光ルートの設定など、観光振興プロジェクトの企画・開発を促進いたします。



空中茶室「閑雲軒」VRイメージ

- 八幡産てん茶普及啓発(継続) 78万円
- お茶の京都普及啓発(DMO分担金)(継続) 659万円
- お茶の京都普及啓発(空中茶室VR展開)(充実) 110万円
- 茶業振興対策(浜茶景観維持)(継続) 20万円
- 森林・山村多面的機能発揮対策事業費助成(継続) 15万円
- 観光振興費(やわたブランド、秋の文化財一斉公開、トイレ設置)(継続) 186万円
- 文化観光解説一帯整備(多言語対応)(新規) 1,150万円
- 公衆無線LANの設置(継続) 50万円
- 観光協会の体制強化支援(新規) 460万円
- 京都やましろ地域と東京しぶや連携交流事業(継続) 127万円
- 科手土井線道路整備(広場、常夜灯)(充実) 7,350万円
- 生涯学習センターふれあいホールの整備(継続) 1,300万円
- 文化振興費(文化協会の浴衣新調)(新規) 173万円
- 大京都2021in八幡の開催(充実) 150万円
- 徒然草文学賞表彰(5周年記念事業)(充実) 1,150万円
- 名勝松花堂及び書院庭園保存活用整備(充実) 7,905万円

2月26日に開会しました令和3年八幡市議会第1回定例会で、堀口市長は市政運営についての基本姿勢および取り組むべき重点施策を盛り込んだ「令和3年度施政方針」を表明しました。その主な内容を紹介します。また、施政方針の全文は市ホームページ(https://www.city.yawata.kyoto.jp/)に掲載しています。

「市民生活を守る」最優先 八幡市長 堀口文昭

昨年2月、3期目の市政運営をスタートさせていたが、早一年が過ぎ去ろうとしています。この間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2020年東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする国や地方公共団体のイベントの数々が延期や中止になりました。また、外出自粛や飲食店等の休業要請、時

間短縮など、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響は生命や健康に留まらず、社会経済、人々の行動、意識や価値観など複雑多岐にわたります。これまでの生活様式に大きな変化・変容をもたらしている。本市では、「八幡市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」の開催により、緊急事態宣言も10都府県でさらに1ヵ月間の延長が決まりました。緊急事態宣言も10都府県でさらに1ヵ月間の延長が決まりました。緊急事態宣言も10都府県でさらに1ヵ月間の延長が決まりました。

型ウイルス感染症対策に取組み、市民の皆様生活を守ることを最優先といたします。また、ワクチン接種につきまして「新型コロナウイルス感染症対策本部」を新たに立ち上げ、迅速かつ的確に実施できるよう準備を進めております。加えて、感染者への差別や偏見が生じることがないよう周知啓発なども努めてまいります。

